アイヌハンミョウ

Cicindela gemmata aino

兵庫県：C

環境省：準絶滅危惧（NT）

種の概要

体長16～17㎜。体表面は濃褐色で光沢は鈍い。上翅は2列の丘孔点をもち、淡黄色の斑紋がある。体下面は緑青金属光沢をそなえる。上唇は前縁が波状で中央に１歯をそなえる。河原の砂地が点在する環境に生息し、成虫は4～5月に多く活動するが、夏には姿を消す。

写真提供：森正人

国内分布

北海道、本州、四国、九州、対馬

県内分布記録

神戸市、川西市、多可町、たつの市、宍粟市、豊岡市、養父市、新温泉町、西宮市、猪名川町、三田市、小野市、朝来市、丹波市、宝塚市、市川町、丹波篠山市、姫路市、赤穂市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
		○	○		

特記事項

その後の調査では新たな生息地や既存記録がいくつか見つかっているが、生息環境は不安定である。生息河川が河川改修や洪水等により影響を受けていると考えられる。

保護上の留意点

河川環境の保全